

朕海軍旗章條例ノ改正ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治二十九年十二月二十四日(海軍大臣副署)

勅令第一號 (明治三十年一月四日官報)

海軍旗章條例

第一條 海軍旗章ヲ類別シテ左ノ二種トス

第一種旗章

第二種旗章

第二條 第一種旗章ノ列序及名稱ハ左ノ如シ

第一 天皇旗

第二 皇后旗

第三 皇太子旗

第四 皇族旗

第五 海軍大臣旗

第六 大將旗

第七 中將旗

第八 少將旗

第九 代將旗

第十 先任旗

第十一 司令旗

第十二 長旗

第三條 第二種旗章ハ左ノ如シ

軍艦旗

艦首旗

當直旗

運送船旗

工作船旗

海軍病院旗

第四條 海軍旗章ノ制式ハ別圖定ムル所ニ依ル

第五條 天皇旗ハ 天皇乘御ノ艦船ニ於テ大橋頂ニ掲ク又軍隊ノ司令權ヲ有スル海軍官廳

ニ臨御ノ時ハ其ノ旗竿ニ掲ク

天皇乗御ノ瑞舟ニ於テハ天皇旗ヲ舟首ノ旗竿ニ掲ク

本令ニ依リ天皇旗ト第二種旗章トヲ同一橋頂ニ掲クヘキ場合ニ於テハ之ヲ併掲セス第二種旗章ハ適宜ノ所ニ掲揚ス

第六條 皇后旗ハ 太皇太后皇太后皇后ニ對シ之ヲ掲ク其掲揚ノ法ハ第五條ニ依ル

第七條 皇太子旗ハ 皇太子皇太子妃ニ對シ之ヲ掲ク其ノ掲揚ノ法ハ第五條ニ依ル但 皇太子文武官等ノ資格ノ場合ニハ之ヲ掲ケス

第八條 皇族旗ハ前二條ノ外ノ皇族ニ對シ之ヲ掲ク其ノ掲揚ノ法ハ第五條ニ依ル但皇族文武官等ノ資格ノ場合ニハ之ヲ掲ケス

第九條 天皇若クハ皇族乗御ノ艦船ニ於テハ日没ヨリ日出マテ大櫓樓ノ後部ニ於テ周圍ヨリ見易キ場所ニ白燈ヲ掲ク但皇族文武官等ノ資格ノ場合ニハ之ヲ掲ケス

天皇乗御ノトキハ五個ニシテ中央及左右ニ列シ皇族ニハ四箇ニシテ左右ニ列シ其ノ間隔ハ凡ソ一米突トス

第十條 第六條乃至第八條ノ旗章及第九條ノ皇族ニ對スル白燈ハ公式ノ場合ニアラサレハ之ヲ掲揚セス

第十一條 外國ノ皇帝皇族及大統領ニ對シテハ第五條乃至第十條ニ準シ各其ノ旗章若クハ

白燈ヲ掲揚スヘシ

第十二條 海軍大臣旗ハ海軍大臣公務ヲ帶ヒ艦船ニ來乗シタルトキハ大檣頂ニ之ヲ掲ケ公務ヲ帶ヒ軍隊ノ司令權ヲ有スル海軍官廳ニ來臨スルトキハ其ノ旗竿ニ之ヲ掲ケ公務ヲ帶ヒ端舟ニ乗ルトキハ舟首ノ旗竿ニ之ヲ掲ク

第十三條 大將旗ハ海軍大將指揮權ヲ帶ヒ乘艦シタルトキ大檣頂ニ掲ク

中將旗ハ海軍中將指揮權ヲ帶ヒ乘艦シタルトキ前檣頂ニ掲ク

少將旗ハ海軍少將指揮權ヲ帶ヒ乘艦シタルトキ後檣頂ニ掲ク

海軍將官指揮權ヲ帶ヒ陸上ニ在ルトキハ相當ノ將旗ヲ麾下ノ一艦若クハ其ノ官廳ノ旗竿ニ掲ク

海軍將官公務ヲ帶ヒ端舟ニ乗ルトキハ相當ノ將旗ヲ舟首ノ旗竿ニ掲ク

第十四條 代將旒ハ司令官タル大佐指揮權ヲ帶ヒ乘艦シタルトキ大檣頂ニ掲ク

司令官タル大佐指揮權ヲ帶ヒ陸上ニ在ルトキハ代將旒ヲ麾下ノ一艦若クハ其ノ官廳ノ旗竿ニ掲ク

司令官タル大佐公務ヲ帶ヒ端舟ニ乗ルトキハ代將旒ヲ舟首ノ旗竿ニ掲ク

第十五條 第二條ノ第一乃至第九ノ旗旒ハ水雷艇及小蒸汽船ニ於テハ第五條乃至第十四條ニ準シ之ヲ掲揚ス

第十六條 將官若クハ司令官タル大佐指揮權ヲ帶ヒ乘艦スルトキハ日沒ヨリ日出マテ大橋樓ノ後部ニ於テ周圍ヨリ見易キ場所ニ白燈ヲ掲ク

大將ニハ三箇ニシテ中央及左右ニ列シ中將ニハ二箇ニシテ左右ニ列シ其ノ間隔ハ各凡ソ一米突トス少將ニハ一箇ニシテ中央ニ掲ク大佐ハ少將ニ同シ

第十七條 先任旒ハ同港内ニ二隻以上ノ軍艦碇泊シ司令長官司令官不在ノトキ先任艦長之ヲ後橋頂ニ掲ク

第十八條 司令旒ハ水雷艇隊司令指揮權ヲ帶ヒ乘艇シタルトキ橋頂或ハ艇首ノ旗竿ニ掲ク

第十九條 長旒ハ其ノ艦ノ指揮權ヲ有スル將校ノ旗章トシ軍艦ノ大橋頂ニ掲ケ二橋艦ニ於テハ後橋頂ニ掲ク但豫備艦軍港要港内ニ在ルトキハ之ヲ掲ケサルヲ例トス

長旒ハ軍艦ニアラサル船舶ニ於テ船長海軍將校ナルトキ亦前項ニ準シ之ヲ掲ク

長旒ハ水雷艇ニ於テ亦第一項ニ準シ橋頂或ハ艇首ノ旗竿ニ掲ク

長旒ハ艦船長公務ヲ帶ヒ端舟ニ乗ルトキ又ハ訪問使外國艦船ヲ訪問スルニ當リ端舟ニ乗ルトキハ其ノ往返トモ舟首ノ旗竿ニ掲ク本艦船ニ搭載スル小蒸氣船ノ場合ニ於テ亦同シ

第二十條 第一種旗章ハ同一ノ艦船若クハ官廳等ニ於テハ二箇以上ヲ掲揚セス只其ノ上位ノ旗章ノミヲ掲揚ス但皇后旗皇太子旗皇族旗若クハ海軍大臣旗ト將旗代將旒先任旒司令旒トハ同時ニ之ヲ掲揚シ又先任旒ト長旒トハ同時ニ之ヲ掲揚スルモノトス

外國ノ皇帝皇族大統領及其ノ他ニ對シ旗章ヲ掲クルハ前項本文ニ依ルノ限ニアラス

第二十一條 第九條及第十六條ニ依リ同一艦船ニ同時ニ白燈ヲ掲揚スヘキ場合ニ於テハ只其ノ最多數ノ白燈ヲ掲揚ス

第二十二條 軍艦旗ハ軍艦及水雷艇ニ於テ後部縦帆架若クハ後部ノ旗竿ニ掲ク但豫備艦艇軍港要港内ニ在ルトキハ第三十五條第三十六條及第三十八條ノ場合ヲ除クノ外之ヲ掲ケサルヲ例トス

軍艦旗ハ艦圍隊校應所屬ノ船舟ニ於テ海軍軍人指揮ヲ司ルトキ亦前項ニ準シ之ヲ掲クルコトヲ得

第二十三條 軍艦旗ハ在泊中午前八時ニ之ヲ掲揚シ日没ニ至テ之ヲ降下スヘシ

第二十四條 軍艦在泊中他ノ軍艦其ノ旗章ヲ掲ケテ接近シ若クハ入港出港スルトキ及禮砲施行ノ場合ニハ第二十三條ノ時刻ニ拘ラス味爽薄暮ト雖旗章ヲ辨別スヘキトキハ軍艦旗ヲ掲揚スヘシ

第二十五條 前條ノ場合ニ於テ第二十三條ノ軍艦旗掲揚時刻ニ到リタルトキハ先ツ其ノ五分時前ニ之ヲ降下シ規定ノ時刻ニ再ヒ之ヲ掲揚スヘシ若シ日没ニ際會セハ一旦降下シ更ニ之ヲ掲揚スヘシ

第二十六條 艦船海洋航行中ハ軍艦旗ヲ掲揚セサルヲ例トス但陸地ヲ望見シ或ハ之ニ近ツ

クトキ殊ニ砲砦砲臺燈臺市邑ノ近傍ヲ通過シ或ハ之ニ接近スルトキハ第二十四條ノ例ニ依リ之ヲ掲揚スヘシ

第二十七條 入港或ハ出港ノ艦船ハ味爽薄暮ト雖第二十四條ノ例ニ依リ軍艦旗ヲ掲揚スヘシ

第二十八條 艦船航行中他ノ艦船ヲ通過シ或ハ之ニ出會スルトキハ第二十四條ノ例ニ依リ軍艦旗ヲ掲揚スヘシ

第二十九條 夜間出港或ハ入港スル軍艦ハ白燈二箇ヲ凡ソ一米突ノ間隔ヲ以テ上下ニ連ネ後部縱帆架若クハ其ノ他見易キ所ニ掲揚スヘシ

軍艦碇泊中他ノ軍艦前項ノ燈火ヲ掲ケ出入スルトキハ其ノ軍艦ニ於テハ其ノ間同種ノ燈火ヲ掲クヘシ

第三十條 端舟及小蒸汽船ハ其ノ本艦ヲ離ルルトキヨリ之ニ歸著スルトキマテ軍艦旗ヲ掲揚ス其ノ掲揚降下ハ本艦ニ從フヘシ但内國ニ在テハ左ノ場合ヲ除キ軍艦旗ヲ掲クルニ及ハス

一 儀式敬禮ニ關スルトキ

二 外國艦船ト交通ヲナストキ

訪問使外國艦船ヲ訪問スルトキハ第二十三條ノ時限外ト雖其ノ往返トモ軍艦旗ヲ掲揚ス

ヘシ

第三十一條 艦首旗ハ軍艦碇泊中斜橋若クハ艦首ノ旗竿ニ掲ク但風雨若クハ操練ノ際ハ時宜ニ依リ之ヲ掲ケサルモ妨ケナシ又豫備艦軍港要港内ニ在ルトキハ第三十五條第三十六條及第三十八條ノ場合ヲ除クノ外之ヲ掲ケサルヲ例トス其ノ掲揚降下ハ第二十三條ニ依ル

第三十二條 艦船ニ於テ旗章ヲ半揚スルハ海軍葬式ニ依ル

第三十三條 滿艦飾艦飾ハ軍艦在泊中ニ行ソモノニシテ滿艦飾ハ各橋頂ヲ亘リ艦首ヨリ艦尾ニ旗旒ヲ列揚シ各橋頂ニ軍艦旗ヲ掲ク艦飾ハ單ニ各橋頂ニ軍艦旗ヲ掲揚ス但外國ノ爲ニスルトキハ大橋頂ノ軍艦旗ヲ其ノ國ノ旗章ニ代フ又橋頂ノ旗章ハ左ノ規定ニ從ヒ掲揚シ若クハ掲揚セサルモノトス

二橋以上ノ軍艦ニ於テ天皇旗皇后旗皇太子旗皇族旗ヲ掲揚スル場合ニ於テハ之ヲ掲クル橋頂ニ軍艦旗若クハ外國旗章ヲ掲揚セス但第二十條第二項ノ場合ニ於テ外國ノ旗章ヲ掲クルハ此ノ限ニアラス

二橋以上ノ軍艦ニ於テ海軍大臣旗大將旗中將旗少將旗代將旒旒先任旒ヲ掲揚スル場合ニ於テハ之ヲ掲クル橋頂ニ軍艦旗ヲ掲揚セス但外國ノ爲ニスルトキハ其ノ國ノ旗章ヲ併揚スルモノトス

單檣ノ軍艦ニ於テ天皇旗皇后旗皇太子旗皇族旗ヲ掲揚スル場合ニハ其ノ檣頂ニ軍艦旗若クハ外國ノ旗章ヲ掲揚セス但第二十條第二項ノ場合ニ於テ外國ノ旗章ヲ掲クルハ此ノ限ニアラス

單檣ノ軍艦ニ於テ海軍大臣旗大將旗中將旗少將旗代將旒先任旒ヲ掲揚スル場合ニハ其ノ檣頂ニ軍艦旗若クハ外國ノ旗章ヲ併揚スルモノトス

第三十四條 本艦ニ於テ滿艦飾若クハ艦飾ヲナストキハ其ノ所在ノ水上ニアル端舟及小蒸汽船ニハ軍艦旗ヲ掲揚スルモノトス

第三十五條 左ノ祝日ニハ諸軍艦總テ滿艦飾ヲナスヘシ但暴風雨ノ節ハ之ヲ艦飾ニ代ヘ若クハ禮砲施行時間ノミ滿艦飾若クハ艦飾ヲナシ或ハ全ク之ヲ省畧スルコトヲ得

紀元節

天長節

天皇皇族外國ノ皇帝皇族大統領ニ對シ皇禮砲ヲ發スヘキ日

其ノ他規則命令ニヨリ滿艦飾ヲ施行スヘキ日

第三十六條 左ノ祝日ニハ諸軍艦總テ艦飾ヲナスヘシ但暴風雨ノ節ハ之ヲ省畧スルコトヲ得

一月一日

第三十五條但書ノ場合

第三十七條 第三十五條第三十六條ニ記載スル祝日ニ當リ帝國軍艦外國軍艦ト同所ニ在泊スルトキハ所在海軍先任將校ハ其ノ前日ニ士官ヲ各外國海軍先任官ニ遣シ公然我祝日ノ告知ヲ爲スヘシ但帝國軍艦外國港灣ニ在泊スルトキハ所在地方廳ニ通知シ其ノ地駐割ノ我外交官或ハ領事官アルトキハ豫メ之ト協議スルヲ要ス

前項ノ告知ヲ受ケ敬意ヲ表シタル各外國ノ先任官ニハ翌日士官ヲ遣シ謝意ヲ通スヘシ
第三十五條ニ記載スル祝日ニ當リ內國港灣ニ於テ外國軍艦ノミ在泊シ帝國軍艦在泊セザルトキハ該地ノ地方長官ハ部下ノ官吏ヲ遣ハシ本條第一項第二項ノ事ヲ行フヘシ

第三十八條 帝國軍艦內國港灣ニ在テ同所ニ在泊セル外國軍艦ノ其ノ本國ニ於ケル祝日等ニ會スルトキ又ハ外國港灣ニ在テ該國ノ祝日若クハ同所ニ在泊セル他ノ外國軍艦ノ其ノ本國ニ於ケル祝日等ニ會スルトキ彼ヨリ我海軍先任將校ニ公然告知ヲ爲ストキハ我軍艦ニ於テモ其ノ場合ニ應シ滿艦飾我ハ艦飾ヲ爲スヘシ又外國ノ祝日ニ於テ入港ノ際現ニ碇泊軍艦滿艦飾若クハ艦飾ヲナストキハ其ノ告知ヲ待タス直ニ滿艦飾若クハ艦飾ヲナスコトヲ得

第三十九條 滿艦飾艦飾ノ掲揚降下ハ第二十三條ノ時刻ニ於テスヘシ但外國軍艦ト同所ニ在リ其國ノ祝日等ニ際シ滿艦飾我ハ艦飾ヲ爲スルハ其ノ掲揚降下ハ該艦ト同時タルヘシ

第四十條 滿艦飾或ハ艦飾ヲ爲シタル軍艦拔錨スルトキハ之ヲ降下スヘシ

第四十一條 二隻以上ノ軍艦共ニ航行シ或ハ同所ニ在泊スルトキ軍艦旗艦首旗及滿艦飾艦飾ノ掲揚降下ハ上位ノ第一種旗章ヲ掲揚スル軍艦ニ從フヘシ

第四十二條 當直旗ハ二艦以上同港内ニ碇泊スルトキ所在海軍先任將校ノ規定ニ從ヒ其ノ一艦ノ後檣頂若クハ桁端ニ掲ク

第四十三條 運送船旗ハ運送通信用等ノ爲メ軍用ニ供スル船舶ノ大檣頂ニ掲ク但船長海軍將校ナルトキハ之ヲ掲ケス

第四十四條 工作船旗ハ工作ノ爲メ軍用ニ供スル船舶ノ大檣頂ニ掲ク

第四十五條 海軍病院旗ハ戰時若クハ事變ノ際海軍病院ノ旗竿若クハ病院船ノ大檣頂ニ掲ク又病院及病院船附屬ノ物品ヲ運送スル舟車等ニ之ヲ用フルコトヲ得

第四十六條 二檣艦船ニ於テハ前諸條ニ依リ後檣頂ニ掲クヘキ旗章ハ之ヲ前檣頂ニ掲ケ單檣艦船ニ於テハ前檣頂及後檣頂ニ掲クヘキモノヲ總テ其ノ檣頂ニ掲クヘシ

第四十七條 同一ノ檣頂ニ二旗章以上ヲ掲揚スルトキハ之ヲ併揚スヘシ

第四十八條 禮砲施行時間中掲揚スヘキ旗章ハ禮砲ヲ始ムルト同時ニ檣頂ニ於テ之ヲ開キ其ノ他ノ旗章ハ差支ナキ限りハ開キテ之ヲ引揚クヘシ

第四十九條 天皇皇族臨御還御ニ際シ其ノ他本艦ニ旗章ヲ掲揚スヘキ者來艦退艦ニ當リ端

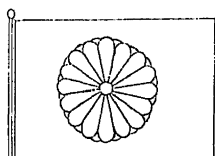
舟ニ其ノ旗章ヲ掲クルトキハ端舟著發ノ際其ノ旗章ノ撤却掲揚ニ應シ本艦ノ旗章ヲ掲揚
降下スルヲ例トス其ノ他ノ場合ニ於テ亦之ニ準ス

第五十條 外國ノ皇帝皇族大統領若クハ官吏ニ對シ並ニ其ノ祝日等ニ當リ其ノ旗章ヲ掲揚

スルハ帝國ニ於テ其ノ政府ヲ公然承認シタルモノニ限ル

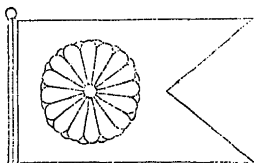
第五十一條 旗章ノ掲揚降下ニ就キ本條例ニ規定セサル場合若クハ外交上彼我厚薄ノ差ヲ
生シ不權衡ト認ムル場合ニハ帝國ノ威嚴ヲ損セサル限リ所在海軍先任將校ハ臨機ノ處置
ヲナスコトヲ得此ノ場合ニ於テハ事後其ノ情況ヲ報告スヘシ

天皇 旗



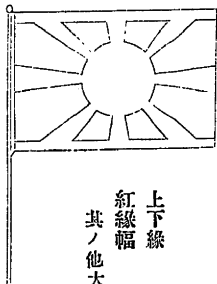
地色 紅
 菊章 金
 横 縦ノ一ト二分一
 菊心 旗面ノ中心
 菊心徑 縦ノ九分一
 菊全徑 縦ノ三分二
 雨風ノ際用フルモノニ
 ハ黃旗布ヲ以テ菊章ヲ
 作ル
 皇后旗皇太子旗皇族旗
 ニ在テモ亦同シ

皇后 旗



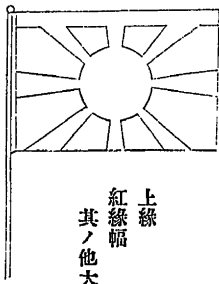
地色 紅
 菊章 金
 横 縦ノ一ト四分三
 燕尾開裂 横ノ三分一上下
 等分
 燕尾ヲ除キタル
 旗面ノ中心
 菊心 縦ノ九分一
 菊心徑 縦ノ三分二
 菊全徑 縦ノ三分二

少將旗



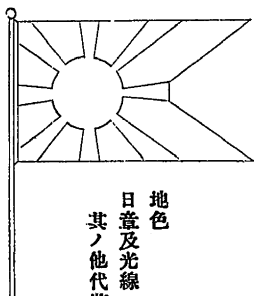
上下緑
紅
紅縁幅 縦ノ十五分一
其ノ他大將旗ニ同シ

中將旗



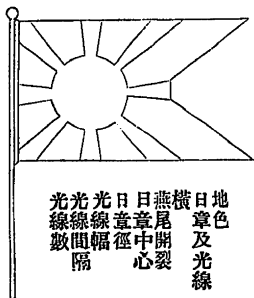
上緑
紅
紅縁幅 縦ノ十五分二
其ノ他大將旗ニ同シ

先任旒



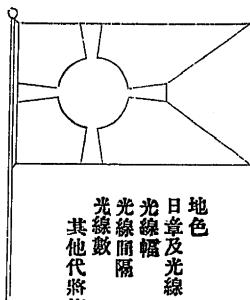
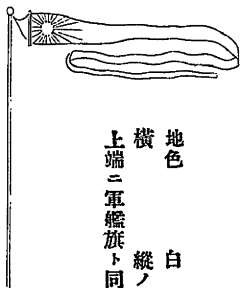
地色 紅
 日章及光線 白
 其ノ他代將旒ニ同シ

代將旒



地色 白
 日章及光線 紅
 横ノ一ト四分三
 縦ノ二分一上下等分
 燕尾ヲ除キタル旒面ノ中心
 縦ノ二分一
 日章中心
 日章徑
 光線幅
 光線間隔
 光線數
 大將旒ニ同シ

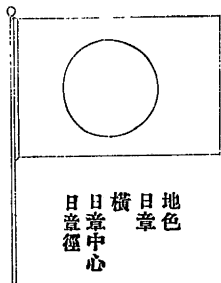
司 令 旗 長 旋



地色 白
横 縦ノ四十乃至百二十
上端ニ軍艦旗ト同一ノ日章及光線ヲ附ス

地色 紅
日章及光線 白
光線幅 十一度四分一
光線間隔 七十八度四分三
光線數 四
其他代將旋ニ同シ

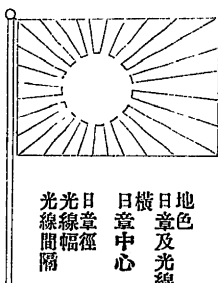
艦首旗



地色
日章
横
日章中心
日章徑

白
紅
縦ノ一ト二分一
旗面ノ中心
縦ノ三分二

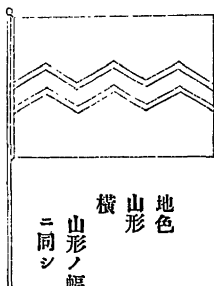
軍艦旗



地色
日章及光線
横
日章中心
日章徑
光線幅
光線間隔

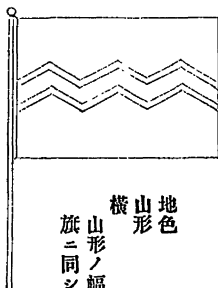
白
紅
縦ノ一ト二分一
旗面ノ中心ヨリ風上ノ方ニ偏ス
ルコト縦ノ六分一
縦ノ二分一
十一度四分一
十一度四分一

旗船送運



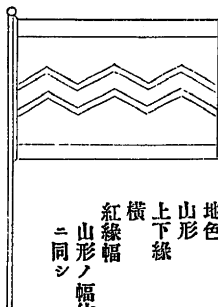
地色 紅
 山形 白
 横 紺
 縦ノ一ト二分一
 山形ノ幅位置及形狀ハ海軍大臣旗
 ニ同シ

旗直當



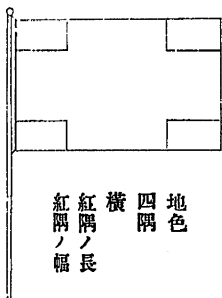
地色 紅
 山形 白
 横 紺
 縦ノ一ト二分一
 山形ノ幅位置及形狀ハ海軍大臣
 旗ニ同シ

工 作 船 旗



地色 白
 山形 紅
 上下 綠
 橫 紅
 紅綠幅 縱ノ一ト二分一
 山形ノ幅位置及形狀ハ海軍大臣旗ニ同シ 縱ノ十五分二

海 軍 病 院 旗



地色 白
 四隅 紅
 橫 紅
 紅隅ノ長 縱ノ一ト二分一
 紅隅ノ幅 縱ノ四分一
 橫ノ四分一